



中部学院の旬の話題をお届けする

中部学院大学報

Chubu Gakuin University & College News

2017
vol. 37

3月18日(土)

卒業式挙行(岐阜市・長良川国際会議場)

特集

②

COC+プロジェクトの取り組み

特集

①

巣立ちの春 卒業生座談会

キャンパスライフの思い出を語る





学生が主体となり、いろいろなイベントを企画した「学びの森フェスティバル」各務原キャンパス



地域の皆さんと交流を深めた「たのしみん祭」と「大学祭」=関キャンパス



表紙／広島東洋カープからドラフト指名された床田寛樹投手

中部学院大学報
2017
vol. 37
2017年3月発行

Chubu Gakuin
University & College News
CONTENTS
〈発行：大学報編集委員会〉

特集
① 04 巣立ちの春
卒業生座談会

特集
② 08 COC+プロジェクトの取り組み

2016年度(後期) EVENT CALENDAR



プロムナードコンサートでは、子ども学部子ども学科、短期大学部幼児教育学科の学生がハンドベルや合唱、パフォーマンスを発表したほか、吹奏楽部は定期演奏会を前に、迫力のある演奏を披露しました。各務原市民会館



クリスマス礼拝と祝会を両キャンパスで行いました



06 恩師からのメッセージ

10 キラッと輝く中部学院生

人間福祉学部／硬式野球部 床田 寛樹 さん
人間福祉学部／吹奏楽部 馬木 美里 さん

12 部・クラブ・サークル紹介

<ピックアップ> CAST
学長賞、同窓会長賞など受賞者一覧

14 トピックス

ダナン医薬技術大学、新潟青陵大学短期大学部などと協定 ほか

15 講演会など

子ども未来セミナー 市民公開講座 ほか



卒業生座談会

4年間、2年間の大学生活を終え、この春、社会に飛び立つ卒業生の皆さん。大学時代の思い出や就職に向けての抱負、後輩の皆さんへのメッセージを語り合ってもらいました。

卒業生座談会 参加者
(写真左から)

- 短期大学部 社会福祉学科
竹地 咲季さん (たけち・さき) 介護福祉士(特別養護老人ホーム)
- 人間福祉学部 人間福祉学科
藤吉 愛佳さん (ふじよし・あいか) 社会福祉士・精神保健福祉士(社会福祉協議会)
- 経営学部 経営学科
内記 康希さん (ないき・こうき) 教員(高校・商業)
- 短期大学部 幼児教育学科
安藤 優菜さん (あんどう・ゆな) 保育士(公立保育園)

- 子ども学部 子ども学科
小島 優美香さん (こじま・ゆみか) 教員(小学校)
- 人間福祉学部 健康福祉学科
田中 秀紀さん (たなか・ひでき) 公務員(消防士)
- リハビリテーション学部 理学療法学科
山中 咲陽子さん (やまなか・さよこ) 理学療法士(治療院)
- 短期大学部 専攻科
岩長 沙知さん (いわおさ・さち) 介護福祉士・保育士(特別養護老人ホーム)

勉強を実践の場で生かす仲間と一緒に勉強に励む

— 大学生活を振り返って、頑張ってきたことや印象に残っていることは。

安藤 ゼミ活動で行った各務原市の「遊びの基地」という講座に力を入れました。驚きのある「あそび」を考えるなど、試行錯誤をしながら、親子で楽しんで遊んでもらえるように努めてきました。その姿を見るとやりがいを感じました。

藤吉 社会福祉士と精神保健福祉士のダブルライセンスの取得を目指して頑張ってきました。また、一人親の子どものために「子ども食堂を開こう」と、積極的に呼び掛けて実現できたことも印象に残っています。ボランティアサークルにも力を入れました。

内記 簿記の資格取得や大会に向けて頑張ってきたことです。夜11時ごろまで、税理士や公認会計士を目指す仲間と勉強してきました。また、高校野球の指導者を目指し、母校やプロのキャンプなどに足を運び学び取る機会も積極的に作っていました。

竹地 入学して間もない5月に、白川村で行われた宿泊研修

がとても良い思い出です。入学してすぐで不安のある中、普段話さない人と話せたり、友達ができたりしました。体調を崩した時は先生や友達が助けてくれて、感謝の気持ちでいっぱいです。

小島 学生会では、学びの森フェスティバルの準備、運営などで、人との関わりが増えました。ボランティア活動では、子どもたちの学習支援をしようとして、子どもたちと交流ができました。良い機会になりました。

山中 学生トレーナーサークル「CAST」で、女子バレーボール部のトレーナーとして取り組んできたことです。明確な目標を持ち、先を見据えて取り組んできました。先輩との関わりも持て、勉強を実践の場で生かすことができました。

岩長 3年間、ハンドベルクワイアで活動してきたことです。部員で演奏する達成感や自分の音に責任を持つこと、コミュニケーションの大切さを学びました。学外で演奏する機会もあり、感動されたり、喜んばれ

たりして、やりがいを感じました。

田中 軟式野球部で全国大会に2度出場できたことが一番の思い出です。2年の秋からは将来について本格的に考え、公務員試験の勉強を仲間と一緒に始めました。目標に向かって真剣に取り組み、消防士に合格できたことも良かったです。

初心を忘れず、笑顔を大切に 当たり前のことを当たり前前に 就職に向けての抱負は。

田中 小学3年の時に新潟中越地震を経験し、中学2の時には、職場体験でレスキュー隊の方の話や、消防士に憧れられた。災害時に救えないとされる命を少しでも救助できるような消防士を目指したいと思っています。

山中 2年から、名古屋市のスポーツ現場でスポーツチームに同行しながら、経験を積んできました。4月からはトレーナーとして加わりますが、常に向上心を持ちながら、必要とされ、信頼される理学療法士を目指していきたいです。

藤吉 希望していた社会福祉協

議会で働くことになりました。地域の方が「この地域です」と安心して暮らしたいという思いを支援できるように、少しでも早く仕事を覚えて、積極的に地域に出て、ソーシャルワーカーとして活躍したいです。

岩長 2年の時に、祖母が認知症になり、介護の仕事に興味を持ちました。春から特別養護老人ホームで勤務しますが、笑顔を大切にしながら、高齢者の方やその家族の思いを受け止め、寄り添う支援を心掛け、信頼される介護者になりたいです。

竹地 私も特養で働きます。利用者の方の目線に合わせて話したり、授業で学んだ介護職としての基本を実践したり、初心を忘れず、当たり前のことをしっかりできるようにしたいです。利用者の視点に立ったケアを実践し、プランを立てたいです。

内記 4月からは商業高校で教員になります。生徒に寄り添い、相談を受けたり、励ましたり、生徒のために全力を注げる教員になりたいです。常に学び続け、生徒とともに成長したいです。あと、野球部の顧問となり、野球を教えたいです。

小島 小学校の教員になりま

す。小学校は人を作り上げていく土台となる大切な場であり、時間だと思っています。児童のことを一番に考え、笑顔を大切にしながら、児童と教員と一緒に、学校という場、時間を築いていきたいです。

安藤 10歳下の弟がいたので、世話をしているうちに子どもに関わる仕事がしたいと思うようになり、春から目指していた保育士になります。子どもたちが思いっきり楽しんで生活できるように、学んできたことを生かしていきたいです。

人とのつながりを広げてほしい 目標を持ち、充実した学生生活を 後輩に向けてのメッセージを。

岩長 福祉に携わる仕事は、人と接することが多いため、対人関係が大切になると思っています。学科内だけでなく、先生方や部活動サークルの先輩・後輩など、多くの方とコミュニケーション能力を高めておくのと良いと思います。

山中 理学療法士の勉強は基礎がないと前に進めません。毎日の小さな努力を積み重ねていくことが大切だと感じました。関心

のあることに積極的に取り組み、人とのつながりを大切にすることで、自分の可能性が広がっていくと思います。

竹地 同感で、勉強は一朝一夕で習得できるものではないので、毎日コツコツと積み重ねていくことが大事だと思います。また、分からないところを分からないままにせず、先生や友達に教えてもらいながら、高めに合っていくと良いと思います。

小島 仲間を大切にしたいです。一人一人に長所や個性があるので、助け合っていくことで学生生活が充実していくと思います。教員試験に向けても仲間の存在は大きかったです。また、小さなことでも目標があると良いと思います。

藤吉 私も目標を持つことで充実した大学生活になると思っています。「子ども食堂を起業したい」という思いを伝えていく中で、実現しました。国家試験に向けては、過去問題を反復したり、先生にわからないところを聞いたりして、合格を勝ち取ってください。

安藤 あいさつや言葉づかいなど、基本的なことをしっかりすることが大切だと思います。公



立保育園や幼稚園などを考えている人は、公務員試験対策講座を受けたほうが良いと思います。学べることに感謝して楽しい大学生活を送ってください。

田中 時間の使い方や人生は変わると思います。公務員試験対策では不得意なところを明確にして仲間と教え合いながら理解を深めました。最初の4分での後の集中力が変わると聞き大切にしてきました。実践してみてください。

内記 普段の生活から「準備」と「気づき」を大切にすると良いと思います。ごみが落ちていたら拾ったり、扉で次の人がいたら待っていたり、気配りができるようなになると、良いことにつながっていくと信じています。

恩師からのメッセージ

何を守りますか

人間福祉学部長 飯尾 良英



ご卒業おめでとうございます。
皆さんのこれからの人生が、健康で幸せに満ちたものになりますよう、心から願っています。これから向かう人生には、様々な出来事が待っています。決断を下すとき、あなたにとって大切なものは何か、何を守り何を捨てるか。そんな人生の物差しが大切です。学生時代に身につけた物差しは、人生を通して活用されます。卒業にあたって「あなたの物差し」を確認してはどうでしょうか。あなたらしい人生を期待しています。

コツコツと愚直に続ける

教育学部長(子ども学部長) 宮本 正一



ご卒業おめでとうございます。
よく学び、よく遊び、精一杯青春を楽しんだ中部学院大学での四年間。学生生活で学んだことをぜひ仕事に活かし、自分を信じ、優しさを忘れず、胸を張って歩いていってください。諦めることなくコツコツと愚直に続けることが大事です。壁は外にあるのではなく自分自身の中にあります。新しい生活が君を待っています。健闘を祈ります。

出発点に立つ思いを大切に

社会福祉学科長 吉川 杉生



ご卒業おめでとうございます。
これからは、皆さんが2年間で学び身につけた介護福祉士としての力を、毎日の現場で直接活かす生活が始まります。援助者として人の前に立つ緊張感を実習でも体験したと思いますが、自分の言動が相手の人生の質に直結するという緊張感は、その出発点にこそ強く実感することです。福祉以外の現場に立つ人も含めて、常に新鮮な気持ちで謙虚に相手と関わることが、自分の実践を省察し新たな力を高める原動力になることを願っています。

15色

専攻科長 吉川 杉生

ご卒業おめでとうございます。
皆さんは、専攻科28期生として入学した時に「15Color-どんな時も自分らしく」というクラス目標を掲げました。そこには、自分らしさを探し大切にしたいという思いと、15人の色があるからこそ彩りが輝くという気持ちがあったと思います。私たち専攻科の教員は、皆さんが狭い「自分らしさ」に閉じこもって欲しくないと思いながら一緒に活動をしてきました。卒業後はそれぞれの現場に立ちますが、これからも「自分らしさ」のこだわりが、周囲も輝かせる力になるようにと期待しています。

後に続く後輩の 良き手本となってください

看護リハビリテーション学部長 三上 章允



ご卒業おめでとうございます。
理学療法士を目指してきた諸君にとって最後の関門であった国家試験も終了し、新しいスタート点に立てました。これからは本番です。患者さん一人一人と向き合い、良き医療スタッフとして今後も知識を積み重ね、技術を磨いてほしいと思います。まもなく後輩たちの実習を指導する立場にもなるでしょう。後に続く後輩たちのためにも、良い仕事をしてもらえものと期待しています。

志は氣の帥也

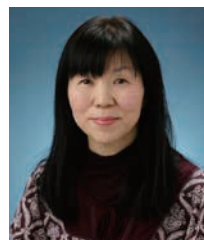
経営学部長 今井 春昭



大学・短大など、このたびめでたくご卒業を迎えられた皆様を心からお祝いたします。おめでとう！
経営学部の皆さんは文・武のあらゆる場面で個性を発揮して十分に活躍し、中部学院大学の名を全国に知らしめる原動力になってくれました。また、抜群のアイデアを以て学生の自治活動に力を発揮してくれました。諸君と共に学べたことを慶び、生涯の誇りにしたいと思います。ありがとうございます！
大きくて高い「志」を持ち続ける限り、「気力」は漲ります。餞に、孟子のこの言葉を贈り祝福します。

巣立ちに寄せて

幼児教育学科長 白幡 久美子



ご卒業おめでとうございます。
幼児教育学科で多くの友人を得て、豊かな学生生活を送ってきました。そして、同一のゴールを目指す仲間と互いに刺激しあいつつ学び、確かな知識と技能を身につけました。
さあ、保育の世界へ飛び立つ準備は上上です。諸先輩の仲間入りをして保育者現場での経験を積みつつ、自らの理想に向かっていきましょう。学校生活に終止符を打ち、社会で貢献する時がきたのです。幅広い分野での活躍を期待しています。

3月17日(金)
卒業礼拝 12:10～ 関キャンパス
3月18日(土)
卒業式 10:00～ 長良川国際会議場
卒業謝恩パーティー 12:45～ 岐阜都ホテル

チャレンジ精神で事に当たろう！

大学学長 古田 善伯



卒業おめでとうございます。これからは社会人としてそれぞれの職場で仕事に専念されることと思います。社会人になるとこれまで経験しなかった新しい課題にぶつかることが出てくると思います。たとえば、何か重大なことを行おうとする際に、自信が無くて不安になり、目的を達成する前にやめてしまい、後になってあの時もっと頑張っていたらよかったと反省することがあると思います。このことは私自身の自戒でもあります。私はある時期から、結果を恐れず自分の限界に挑戦しようという気持ちを持つようになりました。新しいことを手がける際には、様々な困難が発生しますが、とにかくその困難を解決する努力をしていると、いつの間にか事が上手くおさまってくることを何度も経験しました。皆さんのこれからの人生において、何かを行おうとする際にはチャレンジ精神を持って、結果を恐れず努力して取り組んでいただきたいと思えます。きっと成功すると信じています。

今を輝かせよう

短期大学学部長 片桐 多恵子



「先生お元気ですか。輝やいとらんと、いけんよ」。これは、卒業生からの言葉です。九州の方言で葉書一杯に、元気な太い筆の文字が躍っていました。その文字は、在学中の明るい笑顔が30年経った今も健在であることを物語っていました。方言の温かさも加わり、忘れられない励ましの言葉となっています。

「輝く」に関して、もう一つ大事にしている言葉があります。「最後の瞬間が、次の瞬間にやってきてもいいように、今を輝かせよう」という言葉です。座右の銘として、手帳に貼りつけています。卒業生の皆さんへの餞の言葉としてご紹介しました。

輝きの源として、笑顔と挨拶に勝るものはありません。本学のトレードマーク「笑顔と挨拶」を携えて、人生の終わりに至るまで、明るくたくましく生きてください。

自分らしい人生を

学長補佐 片桐 史恵



ご卒業おめでとうございます。成長の証である、この卒業の時、自らを「誇り」に思ってください。皆さんは、様々な困難や課題に直面しながらも、決して諦めることなく「志を高く持ち」弛まぬ努力をし、今日の日を迎えたのです。喜びも悲しみも共に分かち合った中部学院大学・中部学院短期大学部での時間は、この先必ず役に立つ事でしょう。

全ての人に、この世で果たす役割が与えられているのです。その事を心に深く刻んで、これからの人生を歩んでくれる事を心から願っています。

中部学院大学のCOC+プロジェクト

大学を中心として地方創生を目指す「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」の取り組みについて紹介します。



ふれあいコラボワークショップ

地域連携推進センター「ふれあいコラボ」を活用し、連携先と学生、教職員が地域の課題に対して一緒に取り組むワークショップを開催する予定です。ふれあいコラボには、テレビ会議システムを備えているため、連携先と大学をつないでミーティングを行うこともできます。また、施設内には連携を結んでいる自治体の史料などもあり、閲覧することができます。



インターンシップ (単位認定)

現実社会の実務を経験することにより、キャンパスの授業では学ぶことができない社会体験をします。同時に自身の適性を発見し、今後の学習目標を明確にすることや、進路の方向性をみつけることをねらいとしています。2016年度の人間福祉学部「キャリア形成論Ⅳ」では、道の駅ななもり清見、JAめぐみの、自衛隊岐阜地方協力本部、各務原市などでインターンシップを行いました。



全学共通の基礎科目「美濃と飛騨のふくし」 (単位認定)

地域に対する関心を高め、地域の諸活動から学び、自ら地域の活動に参加し、地域での役割を見つけることを目標としています。連携協定を結んでいる自治体と協働し、具体的な課題について考え、行政、地域の皆さんと学生と一緒に、解決策を考えます。2016年度前期は関市の関徳治伝承館などを見学し、「関市の音」にふさわしい「音」の活用方法を提案しました。

本学独自の取り組み

聞く・見る

他大学と合同の取り組み

活躍する

挑戦する



企業向け成果発表会

2016年12月、岐阜大学サテライトキャンパスで開催されました。本学からは「キャリア形成論Ⅳ」を履修した宮川雅也さんと堺憲也さん(ともに人間福祉学部2年)が代表として参加しました。「道の駅 ななもり清見」で行ったインターンシップを通じて、道の駅が抱える課題解決に向けた提案や、社会人と学生の心構えの違いなどについて発表しました。



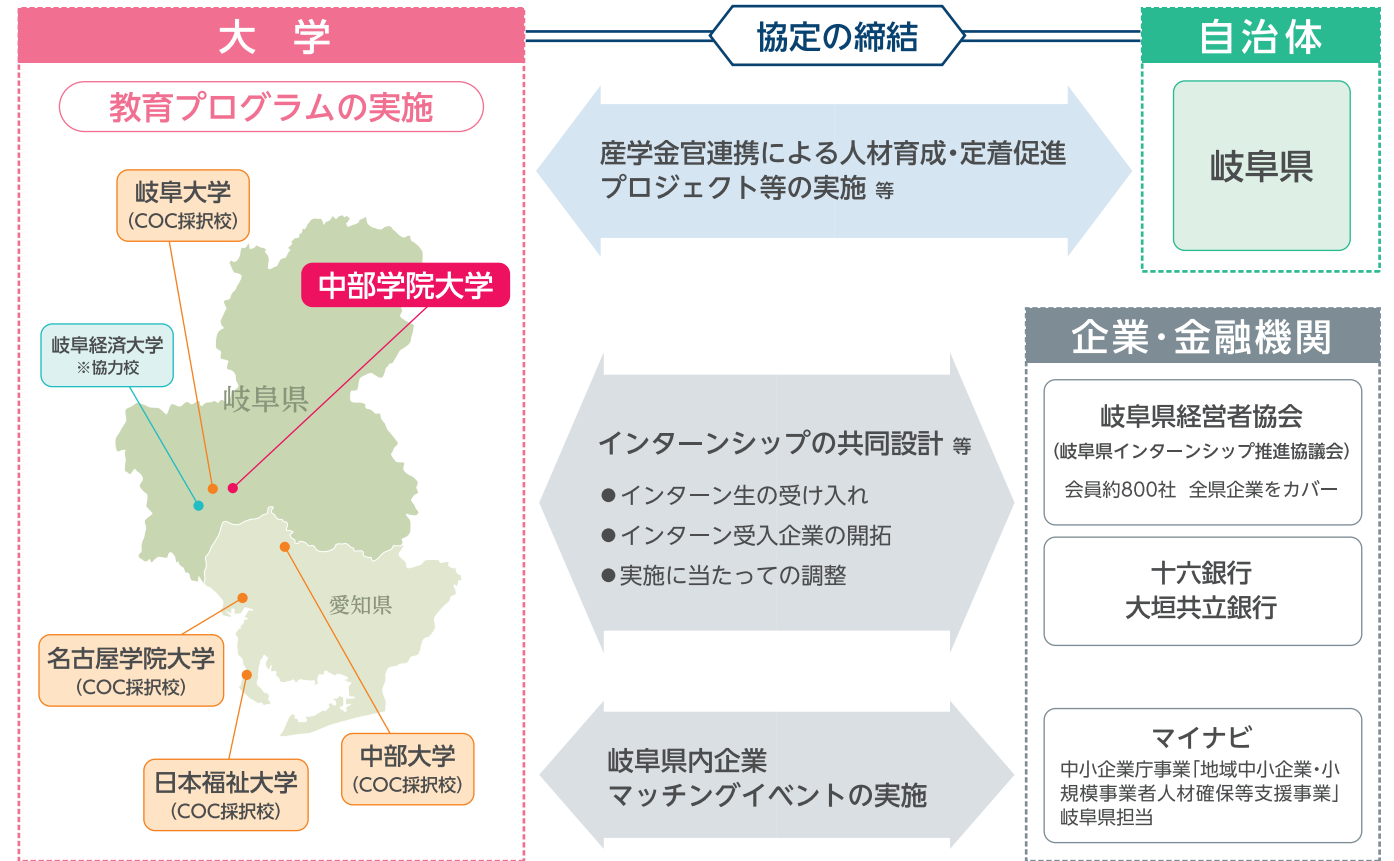
サマースクール

2016年9月7日から3日間、東濃地域で開催されました。本学からは人間福祉学部2年生2人、子ども学部4年生1人の計3人が参加しました。地域の産業や観光振興、食や農産物、地域成長など3つのコースに分かれ、地域について学び、地域の課題解決に向けた提案を行いました。また、他大学の学生と一つのテーマに取り組む貴重な機会となりました。



企業見学会

岐阜県の企業を見学するツアーを行っています。そのうち、2016年6月25日には、高山企業見学会が開催され、本学からは人間福祉学部2年生の2人が参加しました。有限会社船坂酒造店と株式会社ファミリーストアさとうを見学しました。参加した学生からは、「[地域のサポートがあってこそ動ける]という言葉が印象的でした」などの声が聞かれました。



- 事業内容**
- 1 新規教育プログラム**
各大学が「聞く・見る」「挑戦する」「活躍する」の3ステップの人材育成を行います。また、参加大学共通プログラムとして、企業見学会、サマースクール、企業向け成果発表会を行います。
 - 2 雇用創出**
大学と企業、金融機関、岐阜県の産学官共同研究により新規事業開拓を行い、雇用を創出します。また企業誘致も行います。
 - 3 連携事業**
岐阜県の企業と学生のマッチングを強化するため、地域産業界との連携による企業展や企業情報の発掘や共有のための就職支援の取り組みなどを実施します。また、岐阜県の高校生の地元進学と、県外の高校生の県内への呼び込みを促進するため、高校生とその保護者を対象に大学の魅力を発信する高大連携を強化します。

文部科学省 **地(知)の拠点**とは
文部科学省が2015年度から実施している「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業」。大学が地方公共団体や企業などと協働し、学生にとって魅力ある就職先を創り出すとともに、地域が求めている人材を積極的に養成している大学の取り組みを支援する。岐阜大学COC+事業「岐阜でステップ×岐阜にプラス 地域志向産業リーダーの協働育成」は、県内企業などと学生の接点を増やして就職につなげ、若者の流出を緩めるのがねらい。中部学院大学のほか、中部大学、日本福祉大学、名古屋学院大学が参加している。

他大学の学生と交流 学びを深める機会に

COC+ プロジェクトリーダー 人間福祉学部 准教授 大藪 元康



本学は人間福祉学部、教育学部、看護リハビリテーション学部、経営学部の4学部があり、すべての学部がそれぞれの専門領域での学びを生かし、人々のよりよい暮らし(Well-Being)の実現を目指しています。「福祉」「教育」「医療」の専門職養成においては実習が不可欠です。COC+の活動では、さらに岐阜という地域を知り、岐阜で活躍したいという学生が増えるよう取り組んでいます。すでに開講されていた半期科目「美濃と飛騨のふくし」を前期・後期でレポート開講し、受講できる学生を増やしました。経営学部で開講されていたインターンシップ科目を人間福祉学部でも開講しました。COC+活動の特徴は、他大学との連携・協働にあります。サマースクールやバスツアーなどを通じて、他大学の学生と交流することで、学ぶ意欲を高め、学びを深めることができると考えています。岐阜で活躍する学生を地域と協働して育ててまいります。

岐阜で活躍する人材を育てる

大学 学長 古田善伯



「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」は、大学を中心として地方創生を目指す事業です。地方公共団体や企業などと大学が協働し、学生の就職先の創出や地域人材を育成するための教育カリキュラムを展開し、地方に「ひと」の集積を目指します。岐阜県では、2015年度に岐阜大学の「岐阜でステップ×岐阜にプラス～地域志向産業リーダーの協働育成」という事業が採択され、本学は本事業における岐阜県唯一の参加校となりました。岐阜県内での学生の活動を活性化し、岐阜で活躍する人材を育てます。この事業が岐阜県の発展に貢献できるよう、全学を挙げて活動してまいりますので、地域の皆さまのご支援、ご協力をいただきますよう、よろしくお願い致します。

地域公開講座 玉木正之氏講演
スポーツを通じた地域活性化

第2回地域公開講座を2017年2月17日、関キャンパスで開催しました。講師は、スポーツ評論家などとして活躍している玉木正之さん。「スポーツを通じた地域活性化～その前に、知っておきたいこと～」と題して講演しました。玉木さんは色々な競技のルーツなどについて和やかな雰囲気でお話をされました。また、日本では明治時代に運動会が始まったことを紹介しながら、地域で楽しくスポーツを行うことの重要性についても強調されました。

地(知)の拠点協定締結
地方創生推進事業
岐阜大学などと連携

大学生の岐阜県内への就職を推進する岐阜大学COC+事業「岐阜でステップ×岐阜にプラス 地域志向産業リーダーの協働育成」の取り組みについて、本学や県などが2015年10月、協定を締結しました。県内への就職者数を5年間で20%余り増やす目標を掲げ、本学は県内就職率を5%(2014年度 62.9%)高めます。

キラッと輝く中部学院生

勉強をはじめ、部活動やクラブ、サークル、ボランティア等を通じて、キラッと輝く中部学院の学生を紹介します。



人間福祉学部人間福祉学科3年(吹奏楽部 前部長)

馬木 美里さん

まき・みさと
1995年、富山市生まれ。幼少期からクラシックバレエを始め、中学はマーチングバンド部、高校は富山商業高校吹奏楽部に所属し、クラリネットを担当。中学では全国大会に3年連続出場。高校1年に全日本吹奏楽コンクール高校A編成、2年に全日本マーチングコンテストに出場。2014年4月、中部学院大学人間福祉学部に入学。2016年から吹奏楽部部長を務める。[楽器を吹いている時間は自分を取り戻す時間]。最近のマイブームは、星を見に行くことと岐阜県内のスポットを巡ること。同年4月にせき親善大使に就任(2018年3月まで)。



まずは残りの大学生活を楽しみたいと思っていて、やるべきことばかりなので、常に感謝の気持ちを持ちながら、一つひとつ真剣に全力で取り組むつもりです。将来は多くの人を幸せにできる仕事に就きたいです。

「せき親善大使に応募しようと思ったきっかけは、富山市出身で、岐阜県関市で大学生活を送ることになったので、いろいろなことを経験してチャレンジしたいと思っていました。大学2年の時に刃物検定を受けましたが、刃物の歴史など初めて知ることばかりで、関市のこと、山が近くて、長良川もきれいで、自然があふれていると思

いました。その後、小瀬鵜飼に乗船したり、モネの池に行ったり、関あゆ井などのグルメを楽しんだり、市内の温泉に足を運ぶなど、魅力がいっぱいあるところだと感じています。

「せき親善大使ではどのような仕事をしていますか。」
小瀬鵜飼や刃物まつりなどのPRをしたり、交通安全運

「日ごろから意識していること、心がけていることはありますか。」
人の話を聞く時は、しっかりと耳を傾け、笑顔で接するように努めています。また、姿

「将来の目標を聞かせてください。」
まずは残りの大学生活を楽しみたいと思っていて、やるべきことばかりなので、常に感謝の気持ちを持ちながら、一つひとつ真剣に全力で取り組むつもりです。将来は多くの人を幸せにできる仕事に就きたいです。

せき親善大使に就任 関の魅力伝えたい

せき親善大使として活躍する人間福祉学部人間福祉学科3年の馬木美里さん。吹奏楽部の前部長としても活動してきました。親善大使の活動や学生生活との両立、将来の目標などについて聞きました。



「せき親善大使を経験して得られたことは。」
関市を深く知ることができ、市民の皆さんとも触れ合うことができ、誰もが体験できないことを経験していると思います。また、マナー講座では、名刺の渡し方、人の話の聴き方、お礼の仕方など、プロの方からアドバイスをいただき、とても参考になっています。

「大学の学生生活との両立はいかがですか。」
今はせき親善大使の仕事と、授業、部活動、アルバイトと予定が詰まっていますが、毎日とても充実しています。大学では、社会福祉士と精神保健福祉士の資格を取得できるように頑張っています。部活動は吹奏楽部の部長として、みんなで一つの目標に向かって演奏活動ができるように、部員として向き合いながら、練習に臨んでいきたい。アルバイトは、人と関わるのが好きなので、衣料品店と飲食店で接客を担当しています。言葉遣いや身だしなみ、礼儀など、マナーをあらためて学んでいます。

プロ野球広島東洋カープからドラフト指名 即戦力として期待

2016年プロ野球ドラフト会議で、硬式野球部の床田寛樹投手(人間福祉学部、大阪・箕面学園高校出身)が、広島東洋カープから3位指名を受けました。即戦力として活躍が期待される床田投手に、プロでの抱負などを聞きました。



人間福祉学部人間福祉学科(硬式野球部)

床田 寛樹さん

とこだ・ひろき
1995年、兵庫県尼崎市生まれ。大阪の箕面学園高校から本学人間福祉学部に入学。左の本格派として頭角を現し、140km後半のストレートをはじめ、スライダー、ツーシームを武器に安定した投球を見せる。明治神宮大会では、2013年に1試合、2014年に2試合登板。今春の岐阜リーグでは7勝を挙げ最多勝に輝いた。同リーグ通算勝ち星は21勝(公式戦通算は26勝)。目標としている選手は、元広島東洋カープで、大リーグ・ロサンゼルス・ドジャースで活躍している前田健太投手。身長182cm、体重74kg。広島では、左投手の即戦力として、活躍が期待されている。

「プロから指名を受けて、子どものころからの夢だったので素直にうれしかったです。」
「プロ野球を目指したきっかけは。」
2年の時に明治神宮大会に出場した時に、当時、駒澤大学(現DENA)の今永昇太投手の直球に衝撃を受け、自分も今永投手のようになりたいと思いい、決意しました。

「広島東洋カープの印象は。」
若い人が多くて、雰囲気もいい印象を持っています。ファンと選手の距離も近く、自分も早く力になりたいです。

「PRポイントは。」
テンポの良さや緩急を使ったピッチングです。プロでも

「先輩の野間峻祥選手とも」
良いところを伸ばしていきたいです。

「目標にしている選手は。」
元広島東洋カープの投手で、大リーグのロサンゼルス・ドジャースで活躍している前田健太さんのように、存在感があり、チームメイトに信頼されて勝てる投手になりたいです。

「同じ岐阜リーグで戦い、読売ジャイアンツから1位指名を受けた中京学院大学の吉川尚輝選手については。」
大学では結構打たれたので、プロでは抑えて(吉川選手

「プロでの抱負を。」
広島は左投手が少ないのでチャンスがあると思っています。これまで三振を奪ってきたスライダーやツーシームがどこまで通用するのか試したいです。春のキャンプでアピールして、開幕一軍を目指し、先発ローテーションに定着したいです。与えられた場面で結果を残し、10勝を目標に、同じ新人には負けないように頑張り、新人王を狙っていききたいです。



広島東洋カープ
川端 順 編成グループ長

広島東洋カープ
松本 有史 担当スカウト

ボールを持っている時間が長く、スピンのかかった初速と終速があまり変わらないので、空振りが取れる選手。体力が付けば、ローテーションに入って2桁勝てる力があると思っています。

スライダー、ツーシームなど変化球も器用に投げ分けられます。まっすぐにキレがあり、即戦力で十分通用する選手と期待しています。

部・クラブ・サークル紹介

今年度、課外活動で成果を上げた部・クラブ・サークルを順次紹介します。



CAST勉強会 グループ実技の様子

CASTは理学療法学科開設2年目の2008年より同好会としてスタートしています。私が前職の臨床家時代にボランティアで指導していた中京大学の学生トレーナーサークルをモデルにして立ち上げました。そこで知り合った中京大学硬式野球部の学生トレーナー経験者の太田利亨氏(本学同学科2期生、現福岡ソフトバンクホークストレーナー！PT)の協力の下、トレーナーに必要な知識・技術・心構えなどをCAST創設期の参加メンバーにまずは講義しました。受け身では

なくアウトプット型の勉強にシフトするため、徐々に講義を参加メンバーにも任せようになりました。週に2回以上、定期的に活動していたので翌年にはいきなり「部」に認定していただきました。CASTとは(Chubugakuin Athletic Support Team)の頭文字をとったものです。初めは勉強会をするだけでしたが、選手の役に立ちたいという者が少しずつ増え、スポーツ現場でのトレーナー活動も開始しました。本学の強化指定部を中心に、これまで学内外のいくつかのチームをサポートしてきました。現在は硬式野球部、男子バスケットボール部、女子バレーボール部を中心にトレーナーサポートの機会をいただいています。また希望する部員は私がサポートしている実業団チーム



CASTのメンバー

での研修なども経験してきました。部員たちはまだまだ力不足を痛感しながらも、選手のためを考え、日々悩みながら成長を続けています。また、たのしみ祭への参加、部内イベントであるバーベキュー・スポーツ大会や新歓・追いコン・忘年会などの懇親会なども忘れず、縦と横のつながりを大切にしています。CASTのモットーは、「恩は後輩に返せ」です。部員は卒業までに先輩たち(OB&OGを含む)から、たくさん

スポーツ選手や患者の役に立つ知識・技術の習得の場

の指導を受けて成長します。その恩は先輩ではなく、後輩への指導で返すことになっていきます。永遠に続くシステムであってほしいと願っています。昨年6月にNHK岐阜放送局で放送していただいたのはじめ、CASTの活動が最近取り上げられることが増えてきました。これを励みに、部員たちのさらなる自覚や自発的な活動を期待したいところです。なお現在、100名近い部員は全員が理学療法学科の所属です。看護学科や新設されるスポーツ健康科学部から、運動部員が自分のパフォーマンスをアップや障害予防のために参加してくれても構いません。参加メンバーに並び、CASTは自由に成長していきたいと考えています。(学生トレーナー部 CAST顧問・鶴飼建志)

ゴルフ部 全国大会で躍進 個々の活躍が光る



全国の主要大会などで躍進したゴルフ部男子メンバー

ゴルフ部は各大会で選手が実力を発揮し、好成績を収めてきました。信夫杯争奪日本大学対抗戦(10月・千葉カントリークラブ)で4位、朝日杯争奪日本学生選手権(10月・同)で光田智輝選手(経営3年、美濃加茂高校出身)が4位と健闘しました。中部日本マスターズ選手権(11月・日本ラインゴルフ倶楽部)で岩淵隆作選手(同2年/愛知・栄徳高校出身)が優勝し、2017年4月に行われる中日クラウンズへの出場権を獲得しました。そのほか、会長杯争奪中部学生選手権(11月・南山カントリークラブ)では、中山絹也選手(経営1年、三重・津田学園高校出身)が1位、岩淵選手が2位、大内智文選手(同2年、中京高校出身)が4位と躍進しました。

硬式野球部 東海選手権 4季ぶり7度目優勝

東海地区秋季岐阜卓生リーグで、硬式野球部が6季ぶり11度目のリーグ制覇を果たし、東海秋季選手権では4季ぶり7度目の優勝を飾りました。広島からドラフト3位指名を受けたエース床田寛樹投手(人間福祉4年、大阪・箕面学園高校出身)、瀨



秋季岐阜早リーグ、東海地区秋季選手権を制した硬式野球部

2016年度 学長賞 被表彰者一覧

【区分】1:成績・人格識見 2:研究 3:課外活動 4:ボランティア 5:その他

| 氏名・学科・学年 | 区分 | 推薦事由 |
|-----------------|-----|--|
| 桐山 正 (人間福祉4年) | 1 | 学業成績優秀で人格識見が特に優れている |
| 宮川 葵 (健康福祉4年) | 1,3 | 学業成績優秀で人格識見が特に優れている |
| 小島 優美香 (子ども3年) | 1,3 | 学業成績優秀で人格識見が特に優れている |
| 三浦 武大 (理学療法4年) | 1 | 学業成績優秀で人格識見が特に優れている |
| 内記 康希 (経営4年) | 1 | 学業成績優秀で人格識見が特に優れている |
| 大杉 諒暢 (経営4年) | 3 | 明治神宮大会2年連続出場の前動力として貢献、岐阜早リーグ優勝、東海大学野球代表決定戦優勝に貢献 |
| 五藤 怜奈 (人間福祉3年) | 3 | 世界競歩チーム選手権大会に日本代表として出場、日本学生陸上競技対抗選手権大会10000m競歩優勝、日本学生陸上競技個人選手権大会10000m競歩優勝 |
| 杉村 ふうか (人間福祉2年) | 3 | IWAS U23世界競技会(車イス100m、200m)出場、ジャパンパラ陸上競技大会出場、日本パラ陸上競技選手権大会出場 |

短期大学部

| 氏名・学科・学年 | 区分 | 推薦事由 |
|----------------|----|---------------------|
| 岸 祐歌 (幼児教育2年) | 1 | 学業成績優秀で人格識見が特に優れている |
| 稲谷 峰香 (社会福祉2年) | 1 | 学業成績優秀で人格識見が特に優れている |
| 山下 由里子 (専攻科) | 1 | 学業成績優秀で人格識見が特に優れている |

2016年度 同窓会長賞 被表彰者一覧

【区分】1:学生会活動 2:大学の名誉・社会貢献 3:スポーツ・文化 4:その他

大学・短期大学部

| 氏名・学科・学年 | 区分 | 推薦事由 |
|---|----|--|
| 学生会役員会 伊藤 恵樹 (人間福祉3年) 宇佐美 風輝 (人間福祉3年) 寺田 沙絵 (人間福祉3年) 金森 郁美 (子ども3年) 後藤 里菜 (子ども3年) 長野 蒼 (看護2年) 橋爪 透菜 (看護2年) 澤村 優 (幼児教育2年) 若森 隆隆 (幼児教育2年) | 1 | 学生会役員としての役割を果たし、学生会活動の活性化に貢献 |
| 大学祭実行委員会 足立 理菜 (人間福祉3年) 兼松 愛生 (人間福祉3年) 古川 紗奈 (幼児教育2年) | 1 | 大学祭実行委員会役員としての役割を果たし、大学祭等の盛会に貢献 |
| 山口 寛士 (人間福祉4年) | 3 | 東海学生バスケットボールリーグ(2部)優勝に主将として貢献、最優秀選手賞受賞 |
| 山中 咲陽子 (理学療法4年) | 3 | 学生トレーナー部CASTの代表を務め、全国の学生トレーナーとの積極的交流、強化部のサポートに貢献 |
| 宇賀 環 (人間福祉3年) | 3 | 手話サークル部長として部員をまとめ、式典、コンテスト等での通訳、高校生への手話指導等に貢献 |
| 岩淵 隆作 (経営2年) | 3 | 中部学生ゴルフ選手権競技新人戦優勝、中日杯中部学生ゴルフ選手権男子の部優勝 |
| 中野 恵 (子ども教育2年) | 3 | 日本陸上競技選手権大会20km競歩出場、日本学生20km競歩選手権大会出場 |
| ハンドベルクワイア | 3 | 年間を通して学内外での様々な演奏活動を展開 |
| CCF中部学院大学聖歌隊 | 3 | チャペルアワー、クリスマス礼拝等で聖歌隊として貢献 |
| ラ・ルーラファクトリー | 3 | 年間を通して学内外の多数の依頼ボランティア活動で貢献、地域対象の夏祭り・小学生対象の遊び隊の実施 |
| 吹奏楽部 | 3 | 岐阜県吹奏楽コンクール金賞受賞、東海吹奏楽コンクール金賞受賞、学内外での様々な演奏活動で貢献 |
| 中部学院大学学生赤十字奉仕団 | 3 | 学生・教職員に向けて献血協力の呼びかけ活動を広く展開、本学は長年にわたる献血活動推進が高く評価され、今年度「厚生労働大臣表彰」を受賞 |

本年度の卒業生を代表して、同窓会評議員として活躍していただく皆さんです。

| | | |
|---|---------------------------------|---|
| 大学 ●人間福祉学科/土田 晃裕 ●子ども学科/古川 献人 ●経営学科/柴田 恭平 | ●健康福祉学科/秋良 成美 ●理学療法学科/山中 咲陽子 | 短期大学部 ●社会福祉学科/稲谷 峰香 ●幼児教育学科/岸 祐歌 ●専攻科/山田 三裕 |
|---|---------------------------------|---|

講演会など

各界で活躍する先生を講師に招いて講演会や講義を開催しています。シティカレッジ各務原特別講演会は公開講座として親しまれています。

シンガーソングライター 新沢としひこ 本学客員教授が講演

短期大学部幼児教育学科

「今日がはじめての一步」新沢としひこ講習会

第11回子ども未来セミナーを1月28日、関キャンパスにて行いました。テーマは「今日がはじめての一步」。シンガーソングライターで本学客員教授の新沢としひこさんの講習会として開催されました。新沢さんは、子どもから大人にまで愛される歌や、全国各地でのコンサート、保育講習会で活躍されています。本セミナーでも、歌や手遊び、絵本とのコラボ作品を通して、地域の保育者や本学の学生たちに保育の楽しさを教えました。参加者の皆さん全員の歌声がグレースホールいっぱいに響き渡り、とても有意義な時間が繰り広げられました。



第6回 市民公開講座

看護リハビリテーション学部

「健やかに育つ」

看護リハビリテーション学部主催の市民公開講座は、ハートフルスクエア G中研修室を会場に、「健やかに育つ」をテーマに開催しました。

講座内容は、「気になる子」の子育て支援のために発達障がいや早期発見と早期支援が重要であることを強調。続いて「子どもの運動発達」を知ることが異常サインを見逃さないためのポイントであると説明しました。最後に「子育て・子育て・私たち」として、核家族化や地域のつながりの希薄化の問題から子どもをどのように守り豊かに育てるかなど、この分野を専門とする教授陣の研究成果を報告しました。



FC岐阜前社長 恩田聖敬さんが特別講義

看護リハビリテーション学部

「在宅療養生活者として 関係職種に望むこと」

看護リハビリテーション学部看護学科「在宅看護演習」の授業の一環として、「筋萎縮性側索硬化症(ALS)と闘う前FC岐阜社長の恩田聖敬(さとし)さんによる特別講義「在宅療養生活者として関係職種に望むこと」を行いました。講義は、恩田さんの声で読み上げる音声ソフトを使って進行され、「口文字」というコミュニケーション方法の体験や、ALS生活についてのクイズなどを通して、患者との信頼関係を構築することの重要性や、身体メカニズムへの深い理解に基づいた介助経験の大切さについて話しました。



トピックス

各学部学科や部活動では、さまざまな研究発表や課外活動を繰り広げ、積極的に活動しています。

ダナン医療技術大学と学术交流 短大部は新潟青陵大学短大部と連携

ベトナムのダナン医療技術大学と学术交流協定を結びました。これまで、JICA草の根技術協力事業(地域活性化特別枠)「ダナン市の看護職を対象にした老年ケア・キーパーソン養成事業」を通じて、交流を深めてきました。今後、教職員の交流を促進し、ベトナムの医療・介護について共同研究を行います。山県市とも連携協定を結びました。本学が県内の市町村と連携協定を締結するのは9例目。

そのほか、短期大学部は、新潟市の新潟青陵大学短期大学部と連携協定を結びました。地域連携の推進に向けた活動、研究活動の連携などを進めていきます。大学(4年制)についても、同大学と協定に向けた協議を進めています。



スポーツ健康科学部開設記念シンポジウム開催 スポーツ競技力を高めるために必要なことを議論

スポーツ健康科学部開設記念シンポジウムを10月16日、関キャンパスで開催しました。テーマは「スポーツ競技力を高めるために必要なこと」。日本スポーツ心理学会認定スポーツメンタルトレーニング上級指導士でソウル五輪シンクロナイズドスイミング・デュエット銅メダリスト田中ウルヴェ京さんが「メンタルトレーニングは選手に何をもちたすか」をテーマに講演しました。また、パネルディスカッションでは、スポーツドクター、カイロプラクター、栄養士、理学療法士、大学教授らが、それぞれの専門家の視点からスポーツ競技力を高めるために必要なことなどについて意見を交わしました。

岐阜学院大学 創立100周年記念事業
スポーツ健康科学部 開設記念シンポジウム



「介護の日」にバラの花をプレゼント 学生が学びの森やJR岐阜駅で啓発活動

11月11日の「介護の日」を広く知ってもらおうと、人間福祉学部人間福祉学科と短期大学部社会福祉学科の学生らが各務原市の学びの森や岐阜市のJR岐阜駅で啓発活動を行いました。学生は「介護をされている方に感謝の気持ちを伝えましょう」などと声を張り上げ、介護している方にバラの花をプレゼントしました。



献血活動で厚生労働大臣表彰 20年以上にわたり、延べ3000人以上が献血

中部学院大学・同短期大学部が20年以上にわたり、献血活動を推進してきたことが高く評価され、「厚生労働大臣表彰」を受賞しました。これまで延べ3000人以上の学生や教職員らが献血に協力してきました。また、2011年からは中部学院大学赤十字奉仕団が結成され、学内外で広く献血を呼び掛けています。



2017年度 年間行事予定

- 入学式(各務原市民会館) 4/4(火)
- 前期授業開始(※) 4/10(日)
- 開学記念日 5/14(日)
- 創立記念礼拝 5/15(月)
- スポーツ大会 5/27(土)
- 後援会総会・保護者懇談会(関各務原) 6/3(土)
- スポーツ健康科学部開設記念式典 6/10(土)
- 前期定期試験(※) 8/1(火)～8/12(土)
- 後期授業開始日(※) 9/20(水)
- たのしみ祭(大学祭・ホームカミングデー) 10/21(土)
- 学びの森フェスティバル(各務原) 11/3(祝・金)
- 中部手話スピーチコンテスト(各務原) 11/18(土)
- 学院創立100周年記念式典(長良川開会館) 11/25(土)
- クリスマス礼拝・祝会 12/21(木)
- プロムナードコンサート(各務原市民会館) 12/23(土)
- 年内授業最終日 12/25(月)
- 年始授業開始日 1/5(金)
- 大学入試センター試験 1/13(土)～14(日)
- 後期定期試験(※) 1/22(月)～2/9(金)
- 卒業認定発表 3/9(金)
- 卒業礼拝・卒業式(各務原市民会館) 3/17(土)
- 卒業式(長良川国際会議場) 3/16(金)
- 進級認定発表 3/22(木)

(※) 学科により異なる



中部学院大学 大学院 / 大学 / 短期大学部

Chubu Gakuin University & College

[関 キ ャ ン パ ス] 〒501-3993 岐阜県関市桐ヶ丘二丁目1番地 TEL 0575-24-2211
[各務原キャンパス] 〒504-0837 岐阜県各務原市那加甥田町30-1 TEL 058-375-3600

[大 学 院] ◆人間福祉学研究科 修士課程 博士課程(後期)

[大 学] ◆人間福祉学部 人間福祉学科(福祉専攻/心理専攻/健康マネジメント専攻) 通信教育部 ◆教育学部 子ども教育学科(子ども教育コース/保育・発達支援コース) ◆看護リハビリテーション学部 理学療法学科 看護学科 ◆経営学部 経営学科(企業マネジメントコース/まちづくり地域人養成コース/スポーツマネジメントコース/職業会計人コース)*1

◆スポーツ健康科学部 スポーツ健康科学科(スポーツ健康コース/障がい者スポーツコース/スポーツ経営コース)*2

[短期大学部] ◆幼児教育学科(乳幼児保育コース/障がい児保育コース/子ども家庭支援コース) ◆社会福祉学科(介護福祉コース/美・デザインコース) ◆専攻科(福祉専攻)

*1 2017年4月より募集停止 *2 2017年4月より新設 ※コースは変更する場合あり